

## 令和3年度 事業計画

### 1 はじめに

我が国の人口は、2008年をピークに減少に転じており、高齢者数の伸びの鈍化と64歳までの人口減少の加速により、今後、その減少の幅は大きくなると見込まれています。2040年頃には、平均寿命が男性83.27年、女性89.63年となり、20歳～64歳人口が、人口全体のちょうど半分を占めるまでに減少すると推計されています。本格的な人口減少が進む中で、担い手不足への懸念が指摘される一方、「人生100年」という、これまで経験したことがない長い人生を生きる時代がやってくるといわれており、こうした新たな状況に対応した事業運営を考えていく必要があります。

高齢者数の伸びの背景に、人口減少の加速があることから、60歳以上人口の増加が、会員の増加に直接繋がるとは限らず、シルバー人材センター自体が担い手不足となる可能性は否定できません。高齢者同士が、互いに助け合いながら生活を維持する次代の到来が、近づいていると考えられます。

シルバー人材センター事業は、「自主・自立・共働・共助の基本理念」をスローガンとして掲げ、労働政策と福祉政策を架橋するという理想を掲げた運動であると表現されることがあります。生活の知恵や技能、人生経験を後世に残してゆくことは高齢者の社会的義務であり、そのためには働くことが必要であるとともに、働くことの中に生きがいを見つけることが目的といえます。また、高齢者の働き方は、労使間の雇用関係を前提とした就労ではなく、地域の高齢者が自主的に働こうとするところの互助と共働のための就労活動であり、地域でその社会的義務を果たすことで、社会参加・社会貢献をするものであることが大切です。そして、仕事に従事する機会、その他社会的活動に参加する機会を提供する役割を担うのがシルバー人材センターです。高齢者の労働力需給調整機能の一端を担うものとしての位置づけもされています。「生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与する」という目的を達成するために、労働と福祉の境界領域を切り開いてきた存在であることの自負とともに、高齢者自身が運営する組織として、地域に住む高齢者の相互扶助活動や生活支援活動を行い、地域の社会的自治を通じてコミュニティを編成するのに最も適した組織のひとつであり、就業と社会的役割を結合することで、高齢者問題解決の担い手として地域社会や地域住民の皆様にも認知されるよう努めなければなりません。

いまだ、収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、「新たな生活様式」を意識した中で事業を継続するとともに、労働と福祉のバランスを強く意識し、地域社会において信頼感と存在感のある組織であるよう取り組まなければなりません。

## 2 本年度の事業目標

本年度の事業目標は、以下のとおりとします。

- |            |           |
|------------|-----------|
| (1) 会員数    | 665人      |
| (2) 受託契約高  | 2億6,474万円 |
| (3) 就業延べ人員 | 64,050人日  |
| (4) 受注件数   | 4,270件    |
| (5) 重篤事故   | ゼロ        |

## 3 基本計画

本年度の事業目標を達成するために、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ事態の進展にあわせて、次の基本計画を実施します。

### (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

- 1) 「新型コロナウイルス等感染防止対策ガイドライン」の周知を図る
- 2) 新型コロナウイルス感染症に関する情報の収集と提供に努める
- 3) 「新しい生活様式」の中での事業実施方法を検討し、その実施に努める
- 4) ITの活用推進も含め、感染症拡大防止を意識した事業展開を検討する
- 5) その他、感染症の拡大防止対策に関すること

### (2) 会員増強

センター発展の基本となる会員の増強対策として、次の具体的な取り組みを進め、働く意欲と豊富な知識・経験を持つ高齢者の入会を積極的に推進します。

- 1) 入会説明会の開催方法、説明内容等の見直しを図る
- 2) チラシ、リーフレット等による市民及び企業等への啓発に努める
- 3) 地域班や職群班を中心とした、会員による口コミ活動等の実施に努める
- 4) 適正かつ迅速な入会承認及び就業機会の早期提供を図る
- 5) 就業相談等を行い、退会会員の抑制に努める
- 6) その他、会員の増強に関すること

### (3) 新たな就業の場の開拓

会員の増強・拡大を図る上でも重要な課題となる新たな就業の開拓に努めます。

- 1) 四街道市介護予防・日常生活支援事業の充実を図る
- 2) チケットサービスの充実を図る
- 3) 一般労働者派遣事業の強化に努める
- 4) 分かち合い就業の推進に努める
- 5) 新入会員への積極的な就業支援に努める
- 6) サービスと技術の向上と技術・技能の伝承を図る
- 7) 地域に密着していることを強く意識した就業機会の創出に努める
- 8) その他、就業機会の創出に関すること

(4) 地域活動とボランティア活動の強化

- 1) 「四街道市高齢者見守り活動に関する協定」による高齢者見守り活動を実施する
- 2) 「四街道市空家等の適正な管理の推進に関する協定」による、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に寄与する
- 3) 会員の能力や知識を活用した、ボランティア活動や文化活動等の計画づくりと実施機会の創出を図る
- 4) 市民を対象とした講習会や研修会の企画実施に努める
- 5) その他、地域の貢献に関すること

(5) 組織体制の強化

- 1) 会員研修会等の開催を図る
- 2) 専門委員会等の活性化を図る
- 3) シルバー人材センターの適正就業ガイドラインに沿った事業運営に努める
- 4) 会員親睦会との連携を強化し、会員の相互扶助と福利厚生に務める
- 5) その他、組織体制の強化に関すること

(6) 安全・適正就業の推進

- 1) 会員の高齢化の中、一層の安全就業をめざし、事故防止に努める
- 2) 安全・適正就業の内容や形態を点検し、適正就業への改善に努める
- 3) 市民等利用者からの信頼や仕事のリピートを高めるために、会員への各種講習会・会議等の機会を捉え理念の浸透、接遇意識等の向上に努める
- 4) その他、安全・適正就業の推進に関すること

(7) 各種業界団体やハローワーク等関係機関との連携

- 1) 各種業界団体等との連携を通じ、シルバー人材センター事業の活用について働きかけを進める
- 2) ハローワーク等関係機関との連携を通じ、会員増強の機会に努める

(8) 地域社会において信頼感と存在感のある組織を目指した事業の検討

多様な社会参加活動を援助して、生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、シルバー人材センター事業の普及と魅力あるセンターの啓発並びに会員増強のため、地域班、職群班、会員親睦会と連携して、会員のみならず市民も対象とした事業の実施を検討する。